

## 第2学年B組 道徳科学習指導案

指導者 瀧澤 美里

1 主題名 思いやりを形に (B 思いやり、感謝)

2 教材名 譲る気持ちはあるのに…… (出典 「中学道徳2 とびだそう未来へ」 教育出版)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする道徳的価値について

他者に対して思いやりの心をもつことは、人との関わりの中で生きていく上で必要な心の在り方である。中学生の時期は思いやりの心をもつことが大切であると理解している一方で、羞恥心から他者に対してその心を言葉や行動としてうまく表現できないこともある。また、相手の立場や気持ちに対する配慮や想像力の不足、自分の利益の優先など、自己中心的な態度を取ることもある。そこで、他者の立場を尊重し、その心を言葉や行動として表す態度を育てることが重要であると考え、本主題を設定した。

#### (2) 生徒の実態

感情豊かで活発な生徒と内向的で物静かな生徒が二極的に混在している学級である。中堅学年として「背中で語る先輩」を目指し、普段の学校生活において学習や係・委員会活動、部活動などに努力している。特に学校行事には思い入れが強く、学級一丸となり全力で取り組む姿が見られる。

その一方で、思いはあるのに行動できない生徒や、思いを相手に伝えられない生徒も多い。そのため、思いを言葉にし、行動にうつすための活動を重ねてきた。具体的には、行事ごとに「あなたのおかげで〇〇(行事)は」という感謝のメッセージを学級全員に伝え合う活動や、道徳の授業後にその授業を受けてこれから自分がどう生きていくかを一枚の葉っぱに記す「2Bの木」活動などである。これらの思いを言葉にすることは自分と向き合ったり、仲間との絆を深めたりする助けになっている。

夏休み前に実施した思いやりについてのアンケートでは、「親切な行動を取ったことがある」と答えた生徒が86%であった。別の授業で質問した際には、「思いやりの心をもつことは大切である」と理解する一方で、「行動にうつすことができない」「勇気が出ない」と考える生徒がいた。学校生活の中では、その場の自分の気持ちを優先してしまったり行動にうつせなかったりする姿が多く見られる。そのため生徒たちにとっては、思いやりの気持ちを言葉や行動などの形として表すことの大切さに気付き、そのために必要な心の在り方を考えることが必要である。

#### (3) 教材について

本教材は、妊婦が混雑した電車に乗ってきた際の話である。譲る気持ちはあるが声をかけられなかった中学生の話と、席を譲ろうとした高齢の夫婦の行為をきっかけに会社員の「私」と若者が席を譲り、みんなが笑顔になる話が対照的に描かれている。最後に「行為の意味」という詩があり、心や思いを行為とすることについて考えられる教材となっている。

生徒にとって「混雑した電車の車内にて座席を譲る」という話は身近なものではないが、学校生活で馴染みのある場面と重ね合わせることで、思いやりの心を行動にうつすことの大切さについて気付かせることができるのではないかと考える。さらに、「電車で席を譲ること」という少し勇気のいる行動を例にして、思いやりの心を行動にうつすために必要な心の在り方を考えられる教材であると考えられる。

#### 4 本時の実態

##### (1) ねらい

思いやりのある行動について考え話合うことを通して、その行動に必要な心の在り方について考えを深めるとともに、他者を思いやる実践的意欲と態度を育てる。

##### (2) 学習過程

学習活動 ・ 予想される生徒の反応	教師の主な支援
<p>1 教師が困る様子を見せ、そのときに感じたことを発表する。</p> <p>○困る先生を見てどう思っただろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大変そうだな</li> <li>・手伝った方がいいのかな。</li> <li>・自分は席が遠いからいいか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がとった行動（手伝う、声をかける、何もしない等）を観察し、そのときの気持ちを発表させる。</li> </ul>
<p>2 教材文「譲る気持ちはあるのに……」を読んで話し合う。</p> <p>○あなたなら、席を譲るだろうか、譲らないだろうか。また、それはなぜか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恥ずかしい</li> <li>・自分だって座りたい</li> <li>・妊婦さんが転んだら大変だから</li> <li>・自分は中学生で元気だから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・把握しやすいように、教材にある電車の状況について補足説明をする。</li> <li>・ネームプレートを使い、自分であればどうするか明示させる。</li> <li>・補助発問で「座っている人がみんなお年寄りだったら」「妊婦さんがつらそうにしていたら」「部活で疲れていたら」「隣に後輩が座っていたら」など、様々な状況や立場について考えさせる。</li> </ul>
<p>3 アンケート結果を共有し、話し合う。</p> <p>○「ちょっといいこと」はどんな気持ちがあったからできたのだろう。</p> <p>○思いやりのある行動は、何のためにするのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のため</li> <li>・自分のため</li> <li>・みんなが暮らしやすい世界にするため</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの内容以外にも、日常生活での思いやりを必要とする場面を思い起こさせる。</li> <li>・自分は何のために思いやりのある行動をするのかグループで話し合わせる。</li> <li>・思いやりのある社会や思いやりを形にすることの大切さについて理由を考えさせる。</li> </ul>
<p>4 教材文「行為の意味」の詩を読み、思いやりのある行動に必要な気持ちや心構えについて考える。</p> <p>◎「こころ」を「こころづかい」に、「思い」を「思いやり」にするには、どんな気持ちや心構えが大切だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勇気を出す</li> <li>・相手の気持ちを考える</li> <li>・後先を考えない</li> <li>・後悔しないように、という気持ちをもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ONEタイムで自分の考えをもつ時間をしっかり保障する。</li> <li>・ONEチームで考えを共有し、多面的・多角的に捉えることで、自分の考えを深めさせる。</li> </ul>
<p>5 思いやりを行動にうつすために大切にしたいことは何か、これからどのように生きていくかを考え、シートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電車の座席の話だけにならないよう、助言する。</li> <li>・振り返りの視点を与えることで、価値を自分のこととして捉えられるようにする。</li> </ul>

##### (3) 評価の視点

- ・社会で生きていく中での思いやりについて考え話合うことを通して、能動的に行動を起こすことの大切さに気付き、それに必要な気持ちや心構えについて考えることができたか。
- ・これからの生活において、思いやりの気持ちを行動にうつそうと考えているか。